



開始から
8カ月

町長と対話の日

昨年の11月から始まった「町長と対話の日」では、「開かれた町政で対話と協調によるまちづくり」を実現するため、町長が月2回、町民の皆さんと直接対話を行っています。これまでに皆さんから頂いた「意見・要望」の概要やその対応についてお知らせします。

■ 総務課 ☎028(67)1111

「町長と対話の日」の実施日は、毎月1日と15日です。ただし、実施日が土曜日・日曜日・祝祭日になっている場合は、その翌日に開催しています。これまでの訪問者は、84組109人で、男女の割合は、男性87人、女性22人です。

また、これまでに頂いたご意見・ご要望は79件で、身の回りの問題や、町の将来についてなど、多岐にわたっています。

町長との対話の中で、解決したものや、その場では回答できないものを除き、頂いたご意見・ご要望については、おおむね2週間以内に、今後の対応や解決策などを回答し

実施日と訪問者数

実施日	訪問者数	意見・要望数
11月1日	14組14人	15件
15日	8組10人	8件
12月3日	6組8人	特になし
17日	8組8人	特になし
1月15日	12組20人	17件
2月1日	4組5人	6件
15日	8組9人	4件
3月5日	5組7人	4件
17日	3組3人	4件
4月15日	4組8人	7件
5月1日	4組6人	3件
15日	2組2人	4件
6月2日	2組4人	3件
17日	4組5人	3件

■ 今後の予定

- 7月1日(火)
 - 8月1日(金)、18日(月)
 - 9月1日(月)、16日(火)
 - 10月1日(水)、17日(金)
 - 11月4日(火)、17日(月)
 - 12月1日(月)、15日(月)
 - 1月15日(木)
 - 2月2日(月)、16日(月)
 - 3月2日(月)、16日(月)
- ※時間 午前9時～午後5時



■ 頂いたご要望への対応例

町民の声



■ 頂いたご要望への対応例
自宅前が小学生の通学路になっています。道路の拡張に伴い歩道が整備されましたが、歩道と接する用水路との間が段差になってしまい、しかも、用水路にはふたがありません。小学生が落ちてけがをしないかと不安です。この歩道の安全を確保してください。

役場の対応



現場を確認し、歩道と用水路の間に防護柵を設置しました。「町長と対話の日」から防護柵設置完了までの期間は約1カ月でした。
町長からの指示と担当者の素早い対応に、後日感謝の手紙をいただきました。



▲設置された防護柵

その他、ご意見・ご要望から、検討や取り組みが始まったものの一部をご紹介します。
○学校跡地の利用について
ポランティアルーム・子育て支援センター・地域高齢者の憩いの場(グラウンドゴルフ)などとして利用したい。
↓空き教室や校庭の利用の検討が始まりました。



▲旧水沼小学校

○自殺防止対策について
町として情報提供や支援をしてほしい。
↓「広報はが」に特集記事を掲載したり相談窓口を設置するなどの取組みが始まりました。

皆さんの身近な問題の解決やご意見などを町の事務事業へ反映させる方法の一つが、「町長と対話の日」です。この機会をぜひご利用ください。

お待ちしております「対話の日」

当初、町長室を2階から1階に移動して「いつでも住民の皆さんと対話ができるようにしたい」との思いがありました。予算や職員の配置の問題が解決できず、現在の「町長と対話の日」の方法になりました。過去を振り返ると、今の「町長と対話の日」と同じことを始めた記事が、昭和62年7月号の「広報はが」に掲載されています。当時も住民の声を町政に反映させようと、さまざまな取組みを行っていましたが、いつの間にか忘れ去られてしまいました。「行政は継続だ」と言われていますが、まさにそのとおりです。住民の皆さんの声を直接聞くこの取組みを今後も継続していこうと改めて考えています。

訪問して下さった人の感想をお聴きすると「最初は緊張したが、話をしているうちに緊張も解け、和やかに話ができ」「いつも気になっていたことを解決してもらって、ありがとう」などの声が寄せられています。

また、訪問者の男女別の比率を見ると、8割が男性です。これからは、女性の視点に立ったご意見も聴くことができればと思っております。お友達と一緒に、また買い物などの帰りにお気軽にお立ち寄りください。身近な困りごとから町の将来について、町長とおしゃべりしてみませんか。お待ちしております。

